

# 年間教授計画 2024年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
解剖生理学	クラス: 1年 G組 学科: 医療事務科 コース: 全	宮下	①基礎医学 ②ぜんぶわかる人体解剖図 ③臨床医学 I	3時間/週	90時間

授業概要	人体の構造と機能を臓器ごとに学び、確認試験によって理解の定着を図る。
最終到達目標	基礎医学の知識を習得し、医療秘書技能検定3級に合格する。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	オリエンテーション	・人体と細胞 (講義)				
	2	循環器系	・心臓の構造と機能 (講義)				
	3		・刺激伝導系と心電図 (講義)				
	4		・血管の種類と構造 (講義)				
	5		・血液循環の経路 (講義)				
	6	呼吸器系	・上気道と下気道 (講義)				
	7		・肺の構造と機能 (講義)				
	8		・ガス交換のしくみ (講義)				
	9		・内呼吸と外呼吸 (講義)				
	10	血液系・免疫系	・呼吸筋の働き (講義)				
	11		・呼吸運動のしくみ (講義)				
	12		・呼吸中枢と呼吸調節 (講義・小テスト)				
	13		・血液の組成 (講義)				
	14	消化器系	・骨髄の造血機能 (講義)				
	15		・血液細胞の種類と機能 (講義)				
16	・血漿タンパク質の種類と機能 (講義)						
17	・血液凝固のしくみ (講義・小テスト)						
後期 (10月～2月)	1	腎・泌尿器系	・咀嚼機能と嚥下機能 (講義)				
	2		・消化管の構造と機能 (講義)				
	3	内分泌系	・消化吸収のしくみ (講義)				
	4		・蠕動運動のしくみ (講義)				
	5	検定対策	・膵臓の構造と機能 (講義)				
	6		・胆嚢の構造と機能 (講義)				
	7	医療秘書技能検定 (3級) 試験問題の解説	・肝臓の構造と機能 (講義・小テスト)				
	8		・過去問題の配布と解説 (演習・講義)				
	9	脳神経系	・解答例の配布				
	10		・解説 (講義)				
	11		・神経細胞の構造と機能 (講義)				
	12		・中枢神経と末梢神経 (講義)				
	13	運動器系	・脳の構造と機能 (講義)				
	14		・脳動脈の走行 (講義)				
	15		・脊髄の構造と機能 (講義)				
16	・脳神経と脊髄神経 (講義)						
17	運動器系	・自律神経の働き (講義・小テスト)					
18		・骨の構造と機能 (講義)					
19		・全身の骨格 (講義)					
20		・骨の名称 (講義)					
21	運動器系	・関節の構造と種類 (講義)					
22		・関節可動域 (講義)					
23		・骨格筋の構造と機能 (講義・小テスト)					
24		・骨格筋の構造と機能 (講義・小テスト)					
成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他 ( )
	割合	前期	100%				
		後期	100%				
備考 ※2		医療秘書技能検定3級合格者は、後期成績評価に5点を加算する。但し、上限は100点とする。					

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験/小テスト: 単元ごとのテスト等/課題内容: 課題提出および課題の出来具合  
その他: ( ) に具体的内容を記載。(例) 外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たったの留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。